

日本語点字翻字書体

墨字と点字
スミジとテンジ

.....KnockType

note1 制作意図	3
note2 入力についてのいくつかの知識	4
入力の実際	5
下準備	6
かなの入力	8
清音、撥音、促音、長音	8
濁音	9
半濁音	9
拗音	10
拗濁音	10
拗半濁音	11
特殊音	11
かなづかいの作法	13
数字の入力	14
数字	14
数字の作法	15
アルファベットの入力	16
アルファベット	16
アルファベットの作法	20
符号類など	23
句読点など	23
符号一覧	25
書体の種類	28

note1 制作意図

点字とは視覚障害者用に考えられた音標文字です。そのような性格を持つ点字を書体としてひとまとめにする意図とはなんだろう。それを説明するために、「点訳する」という行為の定義をしておく必要があります。日本語で書かれた文章を「点訳する」とはどのような行為を指すのでしょうか。現在、日本語で表記するために使用されている文字は、漢字、ひらがな、カタカナ、句読点などの符号そして英数字です。つまり「点訳」はそれらが交じった文章をすべて仮名文字、英数字や符号に「翻字」することから始まります。それらに「翻字」された文章を今度は点字に「翻字」します。単純化しすぎかもしれませんが、これが「点訳する」ことだと思います。

「墨字と点字」は必ずしも「点訳」を容易にすることを目的にしていません。「点訳する」とは、点字表記の文法を理解して初めて実現できる行為であり、その膨大な知識を書体というミクロな世界に埋め込むことは容易ではないと想像できるからです。しかし点字翻字を容易にすることは可能だと判断しました。「墨字と点字」は「点訳の文法」を理解している人が仮名文字などに翻字された文字を一瞬で点字に翻字することを目的に設計されています。

「墨字と点字」を使用するには点訳の知識が必要であることをnote1でお伝えしました。優れた入門書、教則本などがいくつか出版されていますので、それらを手元において点訳に向き合うようにしてください。そのなかでも日本点字図書館が発行している『点訳のしおり』は廉価であり基礎を知るには最適だと思います。ちなみに「墨字と点字」を作成するにあたり大いに参考にさせていただきました。詳しくはそのような入門書などを参考にさせていただくとして、ここでは点字とはどのようなものなのかを簡単に説明し、「墨字と点字」の文字入力の仕組みについても簡単に述べたいと思います。

点字とは、たて3点×よこ2点＝あわせて6点の組み合わせで表現される音標文字です。凸面を基準にした場合、各点は左列上から下に①の点、②の点、③の点、右列上から下に④の点、⑤の点、⑥の点と呼びます。「凸面の」とあえて断りを入れたのは、点字を書く（打点する）場合、凹面が基準になり、読む（触読する）場合は凸面が基準になるからです。点字を書くときは反転させる必要があるので右から左に書き進めます。そうすると読むときは左から右に読めるようになるのです。

点字に対して晴眼者が使用する文字のことを墨字と呼びます。墨字の場合は1文字2文字...と数えますが、点字の場合は1マス2マス...と数えます。基本は1文字1マスで表現されますが、1文字2マス以上で表現される文字もあります。例えば濁音や半濁音、拗音などの文字です。「墨字と点字」はそれらを極力意識せずに入力できるように設計されています。どういうことかということ、点字で2マス使う文字は墨字でも2文字の幅を持たせています。普段どおり入力すれば濁点の付いた文字は勝手に2文字の幅をとってくれます。なぜそのようにしたのか、点字で2マス使用するのに墨字では1文字分の幅しかなければ、点字と墨字で1行の文字数が変わってしまうからです。点字にしたときのイメージをとりやすくするため、点字のマス数を基準にして、墨字の1文字の幅を規定しています。

先ほども言いましたが、入力は普通にしてください。ローマ字入力、かな入力、どちらでも構いませんし、ひらがなでもカタカナでも構いません。英数字は半角でも全角で入力しても同じです。数符、外字符、大文字符などの前置記号は自動で入力されるようになっていますが、特殊な前置記号（小見出し符など）に関しては、別途入力規則を設けています。

「墨字と点字」はフォントのオープンタイプ機能を利用して墨字から点字に変換できるようにしています。オープンタイプ機能が利用できるアプリケーションで利用することをお勧めします。それが利用できないと「墨字と点字」は「ただのかな書体」でしかありません。もう少し詳しくいうと「墨字と点字」はアドビ社のインデザインとイラストレーターというアプリケーションで使用することを想定しています。それらを所有していないのであれば、満足な結果が得られません。


入力の実際

.....

下準備

点訳の作法に則って、「墨字と点字」の入力についてみていきたいと思います。まずアプリケーションの設定を確認します。

さきほどもお伝えしましたが、「墨字と点字」はオープンタイプフォントの機能（特徴）が使えるアプリケーションでを使用することを想定しています。例えば、アドビ社のインデザインやイラストレーターです。オープンタイプフォントに含ませることができる、合字、前後関係に依存する字形、そしてデザインのバリエーションの3つの機能を利用して、システムを構築しています。

インデザイン CS6 の場合で説明します。「文字パネル」の右上にある  をクリックします。アコーディオンが現れます。下から2項目目にある「欧文合字」にチェックが入っていることを確認してください（図1）。チェックが入っていなければ、チェックを入れます。次に、「文字パネル」の上から4項目目の「OpenType 機能」に移動してください。「前後関係に依存する字形」にチェックを入れます（図2）。墨字を入力するための準備は以上で完了です。入力した墨字を点字に変換するには変換したい文字を選択し、「デザインのセット」に移動して「セット1」をチェックします（図3）。一瞬で点字に変換されます。

スペーシングは「0」にしてください。もしくは「和文等幅」か「メトリクス」を選択します。「オプティカル」を選択すると文字が詰められて、1行に入る文字数が各行でまちまちになることがあります。また「禁則処理」と「文字組み」を「なし」にして下さい。

図1

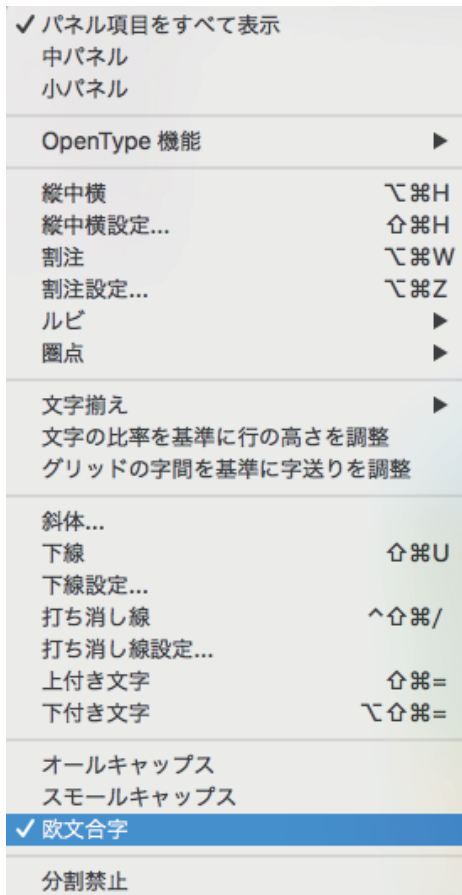


図2

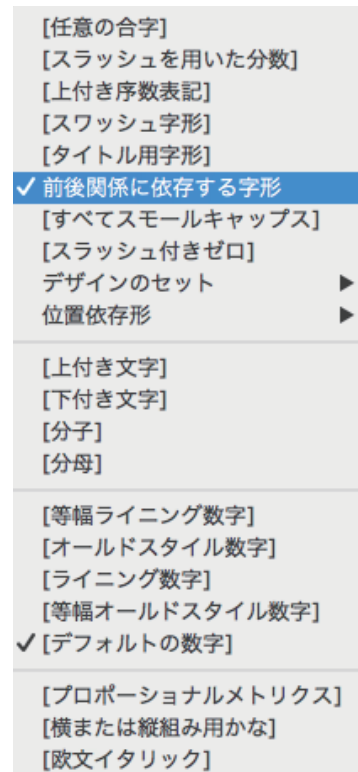
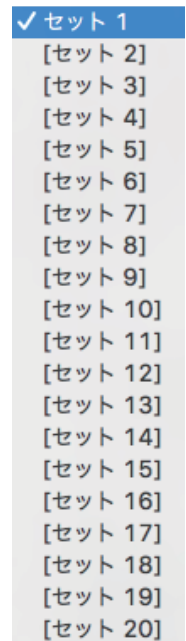
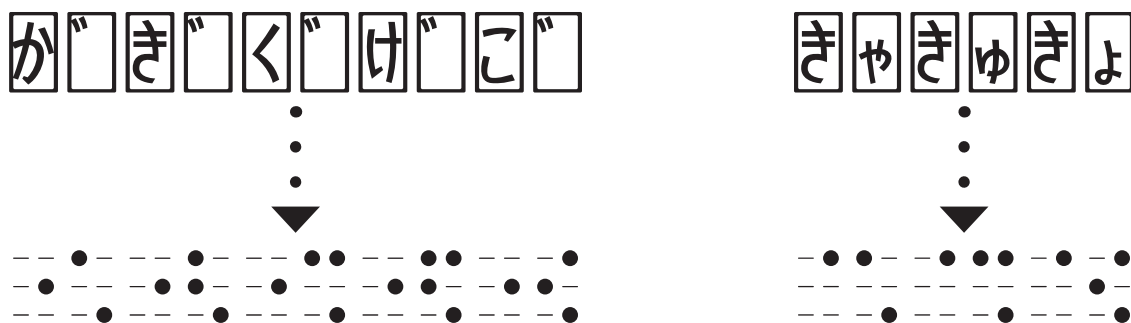


図3





イラストレーターの場合も原理は同じです。バージョンCS6で説明します。「OpenType」パネルの **fi**（欧文合字）と **Œ**（前後関係に依存する字形）がチェックされていることを確認します。反転していればチェックが入っています（図4）。墨字を入力する準備は以上で完了です。**aa**（デザインのバリエーション）をチェックすると一瞬で点字に変換されます（図5）。

図4

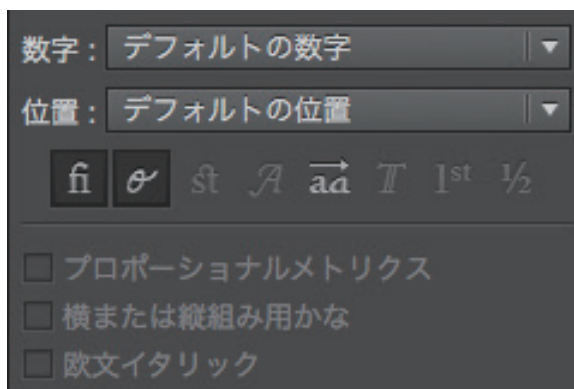
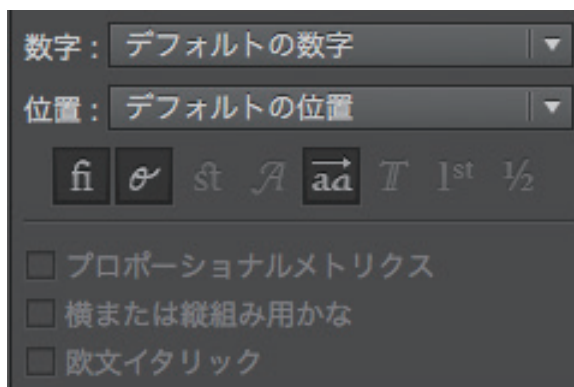


図5



かなの入力

点訳の作法にしたがって入力すれば問題ありません。仮名の種類を確認しておきましょう。清音、濁音、半濁音、拗音、拗濁音、拗半濁音、特殊音、そして撥音、促音、長音です。清音、撥音、促音、長音の点字は1マスで表されます。それ以外は2マスです。

清音、撥音、促音、長音

あ い う え お か き く け こ

●- ●- ●● ●● -● --- ●- ●- ●● ●● -●
-- ●- --- ●- ●- --- -- ●- ●- --- ●- ●-
-- -- -- -- -- -- -- -- ●- ●- ●- ●- ●-

さ し す せ そ た ち つ て と

●- ●- ●● ●● -● --- ●- ●- ●● ●● -●
-● ●● -● ●● ●● --- -● ●● -● ●● ●●
-● -● -● -● -● --- ●- ●- ●- ●- ●-

な に め ね の は ひ ふ へ ほ

●- ●- ●● ●● -● --- ●- ●- ●● ●● -●
-- ●- --- ●- ●- --- -- ●- ●- --- ●- ●-
●- ●- ●- ●- ●- --- ●● ●● ●● ●● ●●

ま み む め も や ゆ よ

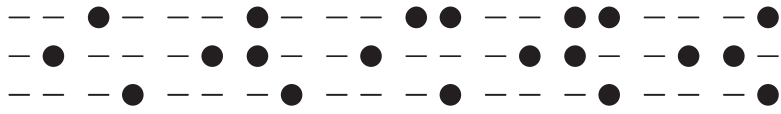
●- ●- ●● ●● -● --- -● -● -●
-● ●● -● ●● ●● --- -- ●- ●- ●-
●● ●● ●● ●● ●● --- ●- ●● ●-

ら り る れ ろ わ ゐ ゑ を ん っ ー

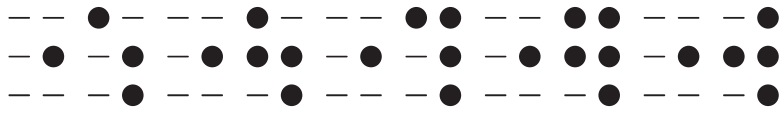
●- ●- ●● ●● -● --- --- --- --- --- --- --- ---
-● ●● -● ●● ●● --- -- ●- ●- ●● ●- --- ●● --- ●- --- ●●
-- -- -- -- -- -- -- -- ●● --- -- -- -- -- --

濁音

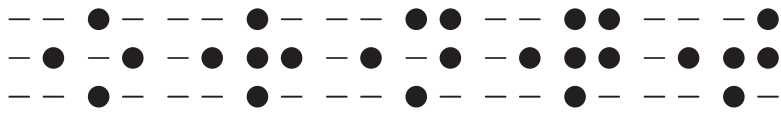
か" き" く" け" こ"



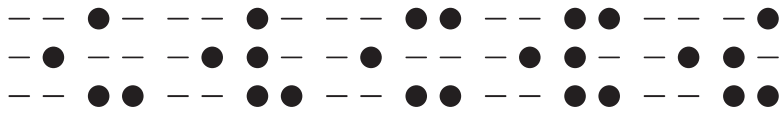
さ" し" す" せ" そ"



た" ち" っ" て" と"

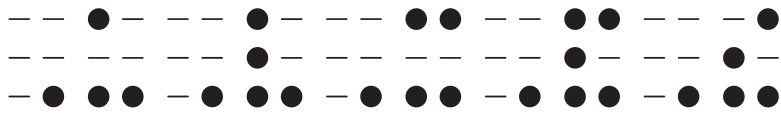


は" ひ" ふ" へ" ほ"



半濁音

は° ひ° ふ° へ° ほ°



拗音

き や き ゆ き よ し や し ゆ し よ

Braille representation of the first row of katakana.

ち や ち ゆ ち よ に や に ゆ に よ

Braille representation of the second row of katakana.

ひ や ひ ゆ ひ よ み や み ゆ み よ

Braille representation of the third row of katakana.

り や り ゆ り よ

Braille representation of the fourth row of katakana.

拗濁音

ぎ や ぎ ゆ ぎ よ じ や じ ゆ じ よ

Braille representation of the first row of katakana with dakuten.

ぢ や ぢ ゆ ぢ よ び や び ゆ び よ

Braille representation of the second row of katakana with dakuten.

拗半濁音

びゃ びゅ びょ

Braille representation of the above characters.

特殊音

い え き え し え じ え

Braille representation of the above characters.

ち え に え ひ え

Braille representation of the above characters.

う い う え う お

Braille representation of the above characters.

く あ く い く え く お

Braille representation of the above characters.

くゝ あ くゝ い くゝ え くゝ お

Braille representation of the above characters.

特殊音

ㄗ あ ㄗ い ㄗ え ㄗ お



ㄞ あ ㄞ い ㄞ え ㄞ お



ㄗ[゛] あ ㄗ[゛] い ㄗ[゛] え ㄗ[゛] お



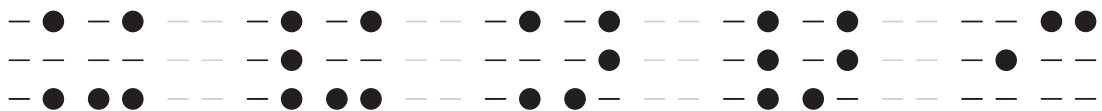
ㄗ い ㄗ[゛] い て い て[゛] い



と う と[゛] う て っ て[゛] っ



ㄞ っ ㄗ[゛] っ ㄞ よ ㄗ[゛] よ ㄗ[゛]



かなづかいの作法

点字は「原則として現代仮名づかいに基づいて書く」（『点訳のしおり』日本点字図書館）のが基本です。『点訳のしおり』には「点字を正しく書くためには現代仮名づかいの知識が必要」と言及されています。読みが判らない場合は必ず辞書などで調べる、という姿勢はとても大切なことです。『点字表記辞典』（(株)博文館新社）なども出版されていますので併せて参考にするといいでしょう。

おかあさん (お母さん)

うつくしい (美しい)

おおきい (大きい) ちいさい (ちいさい)

こっか (国家) かっき (楽器)

現代仮名づかいと異なる点がいくつかあります。助詞の「は」「へ」は発音通り「わ」「え」と書きます。ただし「を」は「お」とは書かずに「を」と書きます。また「う」と書く発音上伸びる文字は「ー」（音引き）を使います。ただし動詞の語尾としての「う」はそのまま書きますが、ウ音便は「ー」（音引き）で書きます。

わたしわ (私は)

かいしゃえい (会社へ行く)

おとをかなてる (音を奏でる)

おとーさん (お父さん) くーき (空気)

くう (食う) いう (言う)

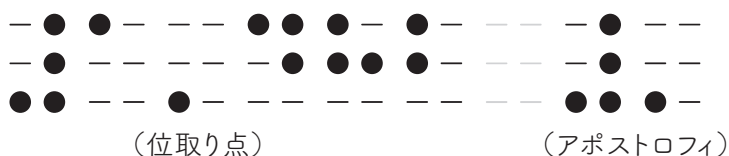
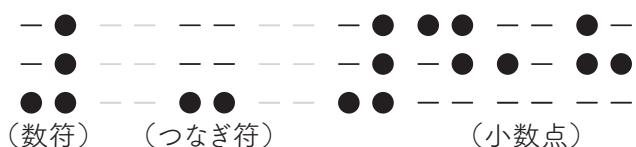
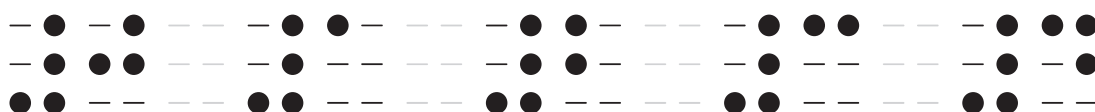
おもーて (思うて) とーて (問うて)

以上、特殊な事例をいくつか紹介しました。基本は現代仮名づかいで書く、ということです。さきほども書きましたが判らない場合は必ず辞書などで調べましょう。

数字の入力

数字もそのまま入力してください。数字の点字表記はア行、ラ行と同じです。点字で数字を表すためには前置記号の数符を用います。数符を置くことで「以下に続く文字は数字ですよ」と伝えます。「墨字と点字」では自動で入力されるようになっているのでわざわざ数符を入力する必要はありません。数字の作法は少し複雑ですが「墨字と点字」では極力それを意識しないように設計されています。

数字



小数点、位取り点、アポストロフィは数字とともに使用されるときは数字用の点字に変換されるように設計されています。アルファベットとともに使用されるときはアルファベット用に変換されます。

数字の作法

点字では、数量や順序は数字で表現します。数字と助数詞などは1マス空けずに続けて書きます。しかし続く仮名がア行またはウ行の場合、続けて書くと数字と誤解されてしまうので、その間につなぎ符を挿入します。助詞、助動詞が続く場合も同様です。ただし「りゃ、りゅ、りょ」は誤解される恐れがないのでつなぎ符が入りません。

すう 5ほん (5本) すう 1ぢやく (1着)

すう 700にん (700人)

た いすう 3しや (第3者)

すう 1けんや (一軒家)

すう 2ふで (二墨手)

すう 5えん (5円)

すう 1りゅー (一流)

4桁までは数字で、万・億・兆の単位は仮名で書きます。小数は小数点を使い、一般文中の分数は読むとおりに書きます。数字を繰り返す表現(2、30回など)は各数字に数符をおき、その間はマス空けも読点もおきません。ただし「墨字と点字」では、数字と数字の間に読点(もしくは中黒)を入力することで繰り返し数符がおかれるようになっています。

すう 3000ねん (3000年)

すう 5びやくえん (5億円)

すう 0.1みり (0.1ミリ)

すう 2ふんのすう 1 (2分の1)

すう 1すう 2かい (1、2回)

アルファベットの入力

アルファベットを使用する場面は大きく分けて2種類あります。和文に現れる略称（CD、TV など）と英単語や英文をそのまま書き綴る場合です。基本はいままでと同様にそのまま入力してください。数字の場合と同じように前置記号、外字符をおきます。単語の始まりが大文字の場合は外字符に続けて前置記号、大文字をおき、その単語がすべて大文字で表される場合は大文字を2回繰り返します。「墨字と点字」では、外字符、大文字は状況に応じて適宜入力されます。英単語や英文をそのまま入力する場合は外国語引用符で囲みます。外国語引用符は自動では入力されません。例えば「- l g a」で前置記号を、「2 g a -」で後置記号を入力します。このように一部、入力規則があります。

アルファベット



がい だい Q □ がい だい R □ がい だい S □ がい だい T

--- -- ●● --- -- -- ● --- -- -- -- ● --- -- -- -- ●
- ● --- ●● --- -- ● --- ●● --- -- ● --- ●● --- -- ●●
- ● -- ● ● --- -- ● -- ● ● --- -- ● -- ● ● --- -- ● -- ● ●

がい だい U □ がい だい V □ がい だい W □ がい だい X

--- -- ● --- -- -- ● --- -- -- ●● --- -- -- ●●
- ● --- ●● --- -- ● --- ●● --- -- ●● --- -- ●● --- -- ●●
- ● -- ● ● --- -- ● -- ● ● --- -- ● -- ● ● --- -- ● -- ● ●

がい だい Y □ がい だい Z

--- -- ●● --- -- -- ● --- -- -- ●●
- ● --- ●● --- -- ● --- ●● --- -- ●●
- ● -- ● ● --- -- ● -- ● ●

がい a □ がい b □ がい c □ がい d □ がい e

--- ● --- -- ● --- -- ●● --- -- ●● --- -- ● ---
- ● --- ●● --- -- ●● --- -- ●● --- -- ●● --- -- ●●
- ● --- ● ● --- -- ● -- ● ● --- -- ● -- ● ● --- -- ● -- ● ●

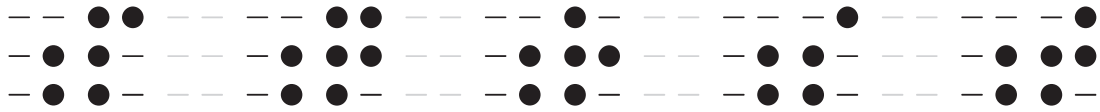
がい f □ がい g □ がい h □ がい i □ がい j

--- ●● --- -- ●● --- -- ● --- -- -- ● --- -- -- ●●
- ●● ● --- -- ●● ● --- -- ●● ● --- -- ●● ● --- -- ●● ●
- ● --- ● ● --- -- ● -- ● ● --- -- ● -- ● ● --- -- ● -- ● ●

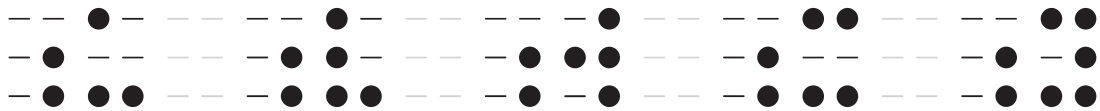
がい k □ がい l □ がい m □ がい n □ がい o

--- ● --- -- ● --- -- ●● --- -- ●● --- -- ● ---
- ● --- ●● --- -- ●● --- -- ●● --- -- ●● --- -- ●●
- ● ● --- -- ● ● --- -- ●● ● --- -- ●● ● --- -- ●● ●

がい p がい q がい r がい s がい t



がい u がい v がい w がい x がい y

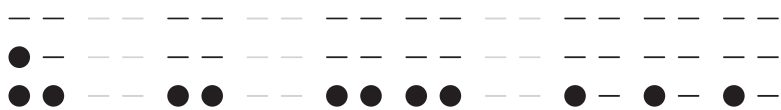


がい z , . ; : !



(コンマ) (ピリオド) (セミコロン) (コロン) (感嘆符)

? - _ . . .

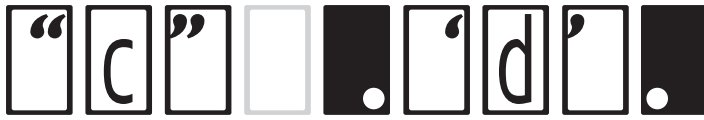


(疑問符) (ハイフン) (ダッシュ) (点線 (英語))

まがえい (a) があいと まがえい [b] があいと



(パーレン、丸カッコ) (角カッコ)



--- ●● --- --- --- ●● --- ---
 ● --- --- ● --- --- ● --- ● --- ---
 ●● --- ●● --- --- ●● ●● --- ●● ●● ---
 (コーテーションマーク) (シングルコーテーションマーク)



--- --- --- --- --- ● --- ●● --- --- ● --- --- ●
 --- ● --- --- --- ● --- ● --- --- ● --- ● --- ● --- ●
 --- ● --- --- ● --- ●● --- ● --- ● --- ●● --- ●● --- ●
 (外字符) (大文字符) (外国語引用符とアポストロフィ) (アクセント符) (イタリック符)

和文と英文で異なる点字を使用する文字があります。疑問符、ダッシュ、そして点線です。英文で使用されるそれらの符号は、外国語引用符で囲まれていれば自動的に英文用の点字に変換される墨字で入力されますが、どうしても上手く入力できない時のために、特別な入力規則が用意されています。いくつかの符号類、または点字特有の符号類の入力規則は 25 頁にリストアップしていますので、そちらを参照してください。

疑問符を英文用に入力する場合、「- (ハイフン)」 「q」 「u」 「e」 「s」 「- (ハイフン)」 と続けて入力します。和文用には「- (ハイフン)」 「g」 「i」 「m」 「o」 「- (ハイフン)」 です。ダッシュの英文用は「- (ハイフン)」 「d」 「a」 「s」 「h」 「- (ハイフン)」、和文用は「- (ハイフン)」 「b」 「o」 「s」 「e」 「- (ハイフン)」 です。点線の英文用は「- (ハイフン)」 「e」 「t」 「e」 「n」 「- (ハイフン)」、和文用は「- (ハイフン)」 「w」 「t」 「e」 「n」 「- (ハイフン)」 です。また、シングルコーテーションマークはアポストロフィと同じため特別に入力規則を設けています。前置は「- (ハイフン)」 「1」 「s」 「i」、後置は「2」 「s」 「i」 「- (ハイフン)」 です。

アルファベットの作法

アルファベットも基本は同じでそのまま入力して下さい。和文に現れるアルファベット文字やそれらで表示される略号などは、仮名文字と区別するため、前置記号、外文字を文字の前に置きます。大文字で始まる場合は外文字に続けて大文字を、すべて大文字の場合は大文字を2回繰り返します。「墨字と外字」では数符同様に外文字、大文字とも自動で入力されます。アルファベット文字を含む単語のうち、その後に仮名文字を含む場合はアルファベットと仮名の間につなぎ符を置きます。前に仮名が含まれる場合はつなぎ符は入りません。つなぎ符も自動で入力されます。アルファベットと数字が1語になっているような場合は続けて書きます。後に助詞や助動詞がくる場合はマス空けします。

が だい B ー ていしょく ー ー ー ー ー ー (B定食)

が だい だい SOS! ー ー ー ー ー ー (SOS!)

が e t c . ー ー ー ー ー ー (etc.)

が だい No . ー すう 4 ー ー ー ー ー ー (No.4)

が だい D っ こ ー ー ー ー ー ー (D子)

が だい O っ か た ー ー ー ー ー ー (O型)

なん がい c m ー ー ー ー ー ー (何cm)

が だい A すう 4 よーし ー ー ー ー ー ー (A4用紙)

すう 4 が だい だい LDK ー ー ー ー ー ー (4LDK)

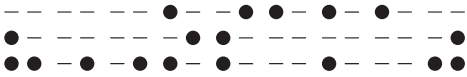
ひ たみん ー が だい C ー ー ー ー ー ー (ビタミンC)

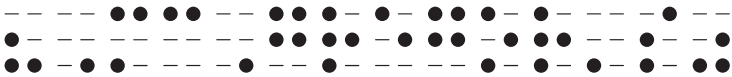
が だい だい PTA ー わ ー ー ー ー ー ー (PTAは)


が だい だい OK ー て す ー ー ー ー ー ー (OKです)


英単語や英文、ローマ字綴りは外国語引用符で囲みます。「墨字と点字」で外国語引用符は、「-（ハイフン）」「1」 「g」 「a」 (-1ga) で前置記号を、「2」 「g」 「a」 「-（ハイフン）」 (2ga-) で後置記号を入力します。大文字のおき方は和文に現れるアルファベット文字同様です。それらは自動で入力されます。カンマ、ピリオド、コロン、セミコロン、疑問符、感嘆符は前に続けて、後ろは1マス空けます。外国語引用符で囲まれた英単語、英文の後に仮名が続く場合は後置記号と仮名の間につきぎ符をおきます。ただし助詞、助動詞が続く場合には1マス空けて仮名を続けます。

まが だ い T O K Y O が あ い と  (Tokyo)

まが だ い だ い O S A K A が あ い と  (OSAKA)

まが だ い M c だ い G r e g o r ' s が あ い と  (McGregor's)

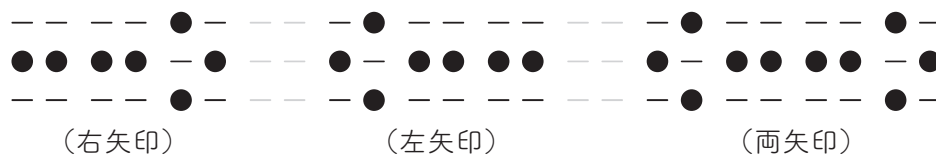
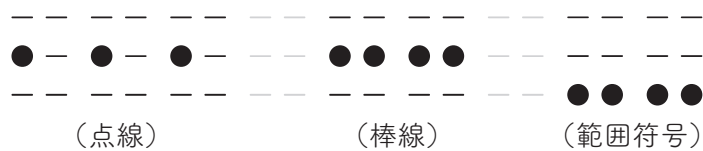
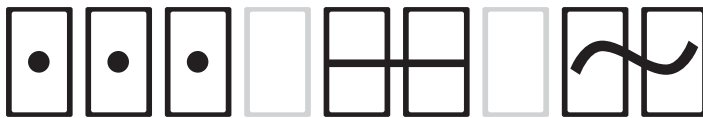
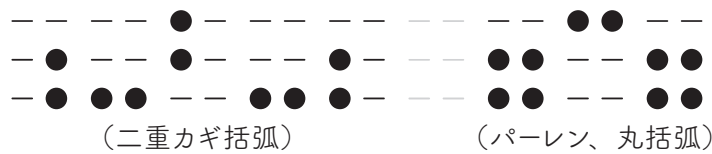
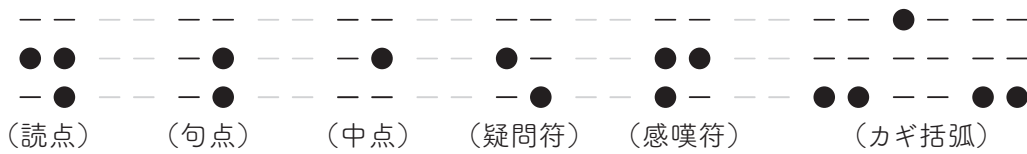
は い まが だ い g a s が あ い と  (排gas量)

まが だ い b r a i l l e が あ い と  (brailleは)

符号類など

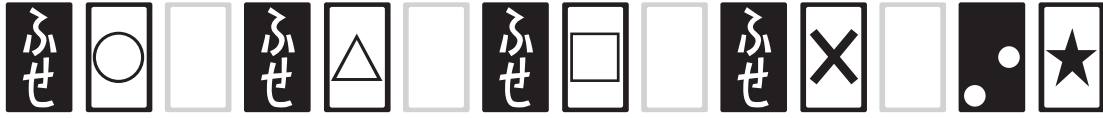
和文の句読点、感嘆符、疑問符、中点、括弧類はそのまま入力します。一部の括弧類、点訳特有の符号に関しては特別に入力規則を設けています。ここでは、それらの符号の詳しい作法には言及しません。入力規則については25頁にリストアップしていますので、あわせて参照してください。

句読点など





--- ●● --- ●● --- ●● --- ●●
 --- ●● --- ●● --- ●● --- ●●
 --- ●● --- ●● --- ●● --- ●●
 (パーセント) (アンド) (ナンバーマーク) (アスタリスク)



--- ● --- ●● --- ●● --- ●● --- ●● --- ●●
 --- ● --- ●● --- ●● --- ●● --- ●● --- ●●
 --- ●● --- ●● --- ●● --- ●● --- ●● --- ●●
 (伏せ字の○) (伏せ字の△) (伏せ字の□) (伏せ字の×) (星印)
 (数字の伏せ字)

符号一覧

以下に符号一覧をリストアップします。既出の符号も併せて掲載します。入力規則を与えている文字は、基本的に入力者が定義する必要がある事例です。

符号	入力規則	墨字	点字
数符	- s u u -	すう	⠠⠠⠠
外字符	- g a i -	がい	⠠⠠
大文字符	- o m o -	だい	⠠⠠
外国語引用符 前	- 1 g a	まがい	⠠⠠
外国語引用符 後	2 g a -	があと	⠠⠠
アクセント符	- a c c -	アクセ	⠠⠠
イタリック符	- i t a -	イタ	⠠⠠
つなぎ符	- t u n -	つなぎ	⠠⠠
欧文の疑問符	- q u e s -	?	⠠⠠
和文の疑問符	- g i m o -	?	⠠⠠
欧文のダッシュ	- d a s h -	⠠⠠	⠠⠠⠠⠠
和文のダッシュ	- b o s e -	⠠⠠	⠠⠠⠠⠠
欧文の点線	- e t e n -	⠠⠠⠠	⠠⠠⠠
和文の点線	- w t e n -	⠠⠠⠠	⠠⠠⠠
シングルコーテーションマーク 前	- 1 s i	⠠⠠	⠠⠠
シングルコーテーションマーク 後	2 s i -	⠠⠠	⠠⠠

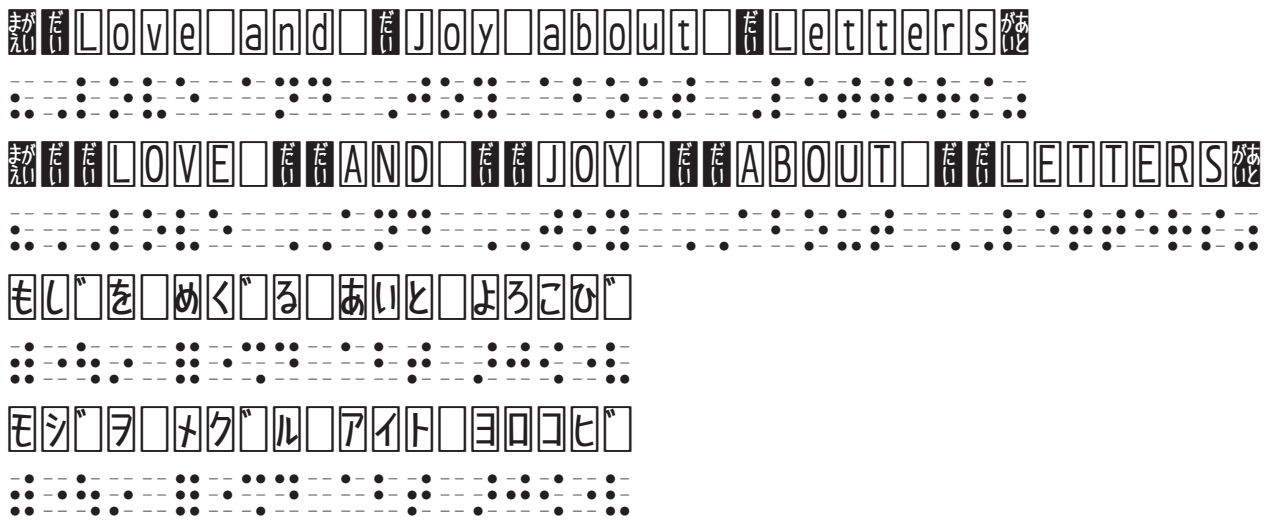
第2 カギ括弧 前	- 1 2 g	② ㄱ	⠠⠠⠠⠠
第2 カギ括弧 後	2 2 g -	ㄱ ②	⠠⠠⠠⠠
二重括弧 前	- 1 2 j	⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠
二重括弧 後	2 2 j -	⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠
第2 括弧 前	- 1 2 k	② ㄱ	⠠⠠⠠⠠
第2 括弧 後	2 2 k -	ㄱ ②	⠠⠠⠠⠠
第1 指示符 前	- 1 1 s	まえ ①	⠠⠠⠠⠠
第1 指示符 後	1 2 s -	① あと	⠠⠠⠠⠠
第2 指示符 前	- 2 1 s	まえ ②	⠠⠠⠠⠠
第2 指示符 後	2 2 s -	② ① あと	⠠⠠⠠⠠
第3 指示符 前	- 3 1 s	まえ ③	⠠⠠⠠⠠
第3 指示符 後	3 2 s -	③ ① あと	⠠⠠⠠⠠
点訳者挿入符	- t e n -	やくしや	⠠⠠⠠⠠
段落挿入符 前	- 1 d a	だん	⠠⠠⠠⠠
段落挿入符 後	2 d a -	だん	⠠⠠⠠⠠
第1 小見出し符	- 1 k o -	①	⠠⠠⠠⠠
第2 小見出し符	- 2 k o -	②	⠠⠠⠠⠠
文中注記符 前	- 1 b u	ぶん	⠠⠠
文中注記符 後	2 b u -	ちゅう	⠠⠠

文中注記符	- b u n -	ぶん	
空欄符号	- k u u -	くらん	
詩行符	- s h i -	し	
二重詩行符	- 2 s h -	し	
その他の伏せ字	- s o n -	ほかの ふせ	

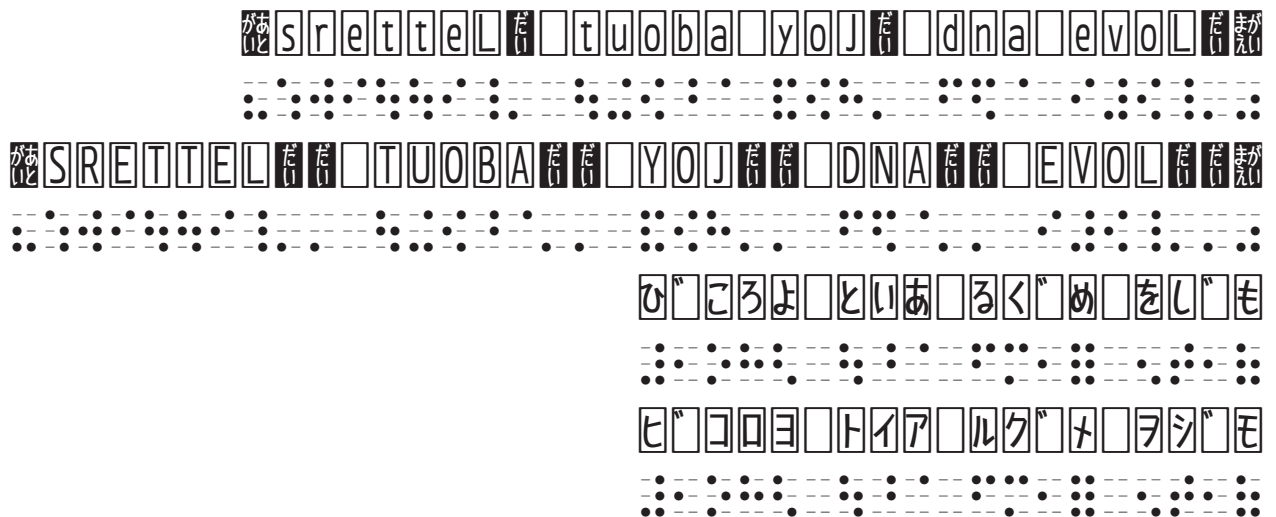
書体の種類

「墨字と点字」では、4種類の書体を用意しています。この見本帳で使用している書体は「囲み、線あり」というウエイトです。そのほかに、「囲み、線なし」と各々に反転したウエイトがあります。凸面に表示されるものは主に印刷用途で利用されることを前提にしています。例えば「囲み、線あり」で、入力と確認作業を行って「囲み、線なし」に変更すれば、印刷用の版で利用するのに最適な字形になります。凹面に表示されるものは主に点字盤などで書かれる（打点する）ことを想定されています。プリントすることで、打点位置の目安を知ることが出来ます。点字盤のマスに合わせればより効果的です。

墨字と点字 - 囲み、線あり .otf



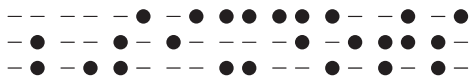
墨字と点字 - 囲み、線あり、反転 .otf



Sixdots はテンキー（もしくは数字キー）を使用して直接点字を入力するための書体です。点の位置の番号を入力することでその位置に点が打たれた点字を表示します。例えば数符（③④⑤⑥の点）を入力するために、まず「0（ゼロ）」を、次に「3」「4」「5」「6」と入力し「0（ゼロ）」を入力します。「0」「3」「4」「5」「6」「0」と入力することで点字の数符を入力することができます。つまり、打ちたい点の位置を入力して両端を「0（ゼロ）」で囲むと点字が表示されます。なお、オープンタイプ機能の「欧文合字」を利用していますので、アプリケーションの「欧文合字」をチェックしてください。

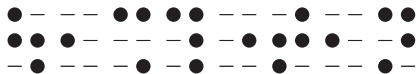
Sixdots hasline.otf

{外字符} {大文字符} Sixdots



上記の点字は「0560060023400240013460014500135002345002340」と入力しています。

シックスドッツ



上記の点字は「01256002001460014560050023450020013450」と入力しています。

Sixdots hasnotline.otf

{数符} 2018年



上記の点字は「0345600120024500100125001234003560」と入力しています。

バイオリン



上記の点字は「05001360012002400125003560」と入力しています。

参考文献

社会福祉法人 日本点字図書館『点訳のしおり（改訂2刷）』社会福祉法人 日本点字図書館 2015年
社会福祉法人 日本点字図書館『日本点字表記法2001年版』社会福祉法人 日本点字図書館 2001年
『点字表記辞典 第6版』編集委員会『点字表記辞典 第6版』
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター発行 博文館新社発売 2014年

ご意見ご要望、不具合の報告などは以下までお願いいたします。

information@sugargliderz.com

© sugargliderz

by sugargliderz

1st Edition 2018



フクロモモンガ書体設計
sugarliderz